

大田桜台 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1～5組：落合、斎藤、寺尾）

使用教科書： （APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅢ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】
- 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際コミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- えなどの概要や要点、詳細、意図を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付ける。	日常的や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、論理の構成や展開を工夫して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話「 」 「 」	書					
1 学 期	A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測しようとする。	・指導事項 音声の読み聞かせを通して、発音、イントネーション、意味の区切りを意識し、音声活動につなげる ・教材 多読本、多読・多聴記録手帳 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○		A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点の確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深めているか。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしているか。	○		○	6
	B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようになるために、粘り強く繰り返し練習しようとする。	・指導事項 シャドーイングを中心として、ネイティブの自然な英語の速さ、発音に慣れて聞き取ったり発話できたりするように指導する。 ・教材 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 シャドーイングの練習時に活用する	○	○	○		B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようになるために、粘り強く繰り返し練習しようとするか。	○		○	8
	C【発表】Product Promotion 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、自分の考えや情報を伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、論理の構成や展開を工夫して聞き手を説得できるように表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとする。	・指導事項 日本の商品やサービスをJETに紹介する発表を通して、今まで学んできたビジネスの知識を活用し英語で効果的に伝えることができるよう指導する。 ・教材 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 情報の収集、共有、課題の提出で活用する。	○	○	○	○	C【発表】Product Promotion 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、自分の考えや情報を伝える技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、論理の構成や展開を工夫して聞き手を説得できるように表現したり伝え合ったりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしているか。	○	○	○	16

2 学 期	A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測しようとする。	・指導事項 音声の読み聞かせを通して、発音、イントネーション、意味の区切りを意識し、音声活動につなげる ・教材 多読本、多読・多聴記録手帳 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深めているか。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしているか。	○	○	6
	B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようにするために、粘り強く繰り返し練習しようとする。	・指導事項 シャドーイングを中心として、ネイティブの自然な英語の速さ、発音に慣れて聞き取ったり発話できたりするように指導する。 ・教材 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 シャドーイングの練習時に活用する	○	○	○				B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようにするために、粘り強く繰り返し練習しようとするか。	○	○	8
	D【発表】Graduation Speech 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、自分の考えや情報を伝え合ったりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、論理の構成や展開を工夫して自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとする。	・指導事項 卒業スピーチの発表を通して、高校三年間で学んだことを振り返るとともに ・教材 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 情報の収集、共有、課題の提出で活用する。	○	○	○	○	○		C【発表】Graduation Speech 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、自分の考えや情報を伝え合ったりする技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、論理の構成や展開を工夫して自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしているか。	○	○	16
3 学 期	A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測しようとする。	・指導事項 音声の読み聞かせを通して、発音、イントネーション、意味の区切りを意識し、音声活動につなげる ・教材 多読本、多読・多聴記録手帳 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○				A 多読・多聴 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、正しい音声を使って適切に伝えることができる技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深めているか。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしているか。	○	○	4
	B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようになるために、粘り強く繰り返し練習しようとする。	・指導事項 卒業スピーチの発表を通して、高校三年間で学んだことを振り返るとともに ・教材 自作プリント ・一人1台端末の活用 等 情報の収集、共有、課題の提出で活用する。	○	○	○				B 音声活動 【知識及び技能】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりすることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 自然な英語の音声の特徴を理解し、適切なスピード、意味の区切れ、イントネーションを聞き取ったり、話したりできるようになるために、粘り強く繰り返し練習しようとするか。	○	○	6 合計 70